

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	男女共同参画推進センター(総合)	所管課	県民生活・男女参画課
所在地	甲府市朝気1-2-2	設置年月日 (改築年月日等)	昭和59年1月20日
管理方式	指定管理者((公財)やまなし文化学習協会、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立男女共同参画推進センター設置及び管理条例		
設置目的	県民に男女共同参画に関する学習の機会と交流の場を提供し、もって男女共同参画の推進に資するため、男女共同参画推進センターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	託児室(65㎡)、展示室(161㎡)、情報資料室(85㎡)、交流室(24人)団体連絡室(30人)、大研修室(150人)、中研修室(96人)、小研修室(1)(60人)、小研修室(2)(24人)、工芸・美術室(36人)、調理実習室(48人)、会議室(25人)、レクリエーション室(50人)、視聴覚・音楽室(80人)、茶・華道室(1)(25人)、茶・華道室(2)(30人)		
主な業務内容	(指定管理者が行う業務を記入する。) (1)県民に男女共同参画に関する学習の機会と交流の場を提供するための事業の実施。 (2)地域の住民に対する地域活動の場の提供。		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1)男女共同参画推進センター:利用者数12,989人(峡南)、52,479人(富士) (2)甲府市総合市民会館: (3)山梨県生涯学習推進センター
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	貸館利用者	91,187	88,762	87,946	
	事業参加者	10,996	12,462	12,068	
	利用者数合計	102,183	101,224	100,014	
	目標値	93,300	105,300	104,300	103,020
	目標値設定の考え方	前年度実績の5%増を目標とする。	前年度実績の3%増を目標とする。	前年度実績の3%増を目標とする。	前年度実績の3%増を目標とする。
	対21年度比	100.0%	99.1%	97.9%	100.8%
稼働率	32.6%	40.2%	37.5%		

4. 収支状況

単位：円、%

		平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	6,245,110	6,120,000	6,659,780	6,200,000
	指定管理者委託料	64,676,015	64,670,000	71,784,720	70,811,000
	その他	1,488,934	320,000	367,874	295,000
	収入合計(A)	72,410,059	71,110,000	78,812,374	77,306,000
支出	人件費	45,442,963	46,344,000	47,980,907	48,128,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	26,532,687	25,377,000	28,645,372	29,178,000
	(うち外部委託費)(B)	8,527,243	8,085,000	7,468,973	8,026,000
	支出合計(C)	71,975,650	71,721,000	76,626,279	77,306,000
収支差額(A-C)		434,409	-611,000	2,186,095	0
外部委託比率(B÷C)		11.8%	11.3%	9.7%	10.4%
利用者一人当りの経費		633	620	718	687

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。

※利用者1人当りの経費の算定式

H19～20: (支出－収入) ÷ 利用者数、H21～23: 指定管理者委託料 ÷ 利用者数

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成23年4月～24年3月、実施方法：事業参加者・貸館利用者へのアンケート、回答数 管理運営：286人 企画事業：1,602人
-------	--

単位：%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①施設・設備の充実	87.4%	7.0%	3.8%	1.7%
②施設・設備の整備	89.9%	5.2%	3.1%	1.7%
③サービス	92.7%	6.3%	0.0%	1.0%
④施設全体	80.1%	18.2%	0.7%	1.0%
⑤事業	82.3%	17.0%	0.6%	0.0%
各項目の平均	84.5%	13.8%	1.2%	0.6%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃が行き届き、希望に添った親切な対応に感謝する。 ・駐車スペースが足りない。 ・エアコンの設定がもう少しきめ細かに出来るとありがたい。 ・県外から来たため、出来ればバスの最寄りのバス停等情報が欲しい。 ・音楽室に使用できるスピーカーシステムが欲しい。 ・3階にもホワイトボードが欲しい。 ・使いやすく、清掃が良くされサービスが良い。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、サービスの向上に努め、利用者が快適に利用できるよう管理したい。 ・駐車場を有効活用するため、利用者に乗合い来場の協力をお願いしている。 ・今後空調システムの改修を県と協議して進めていきたい。 ・掲示板を作成し、バス停の最新用法を掲示した。 ・簡易スピーカーシステムを設置した。 ・年度ごとにホワイトボードを購入し、各階に設置した。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。 HPを作成に着手した。	維持管理については、業務仕様書及び業務計画に基づき、概ね適正に実施されている。自主提案のあったセンター独自のHPは、作成に着手したので、早急に完成させて情報掲載を開始すること。
運営業務	「山梨県立男女共同参画推進センター設置及び管理条例」及び「山梨県立男女共同参画推進センター利用及び利用料金に関する事務取扱要綱」を厳守し、業務計画に基づき適正に業務を執行した。 県民ニーズを踏まえ、開催する講座に国の第3次計画や震災関連の内容を反映させた。	運営については、業務仕様書及び業務計画に基づき、概ね適正に実施されている。今後も業務仕様書及び業務計画どおりに実施すること。運営協議会で出された意見を運営に生かしていくこと。
自主事業	業務計画書に基づき適正に業務を執行した。	業務協定及び業務計画に基づき、概ね適正に実施されていた。
利用状況	開館日の増加、ポイントカードの導入等により利用者数の増加を図っているが、貸館利用者数は前年度と比べ微減、事業参加者は減少している。今後は事業参加へのPR活動等に努めると共に、県民ニーズを把握し、魅力ある講座を開催していきたい。	貸館利用者数は前年度と比べ微減、事業参加者は減少している。PR活動等を行うことにより、利用者数の増加を図るとともに、魅力ある講座を多く開催し、事業参加者を増加・確保すること。
収支状況	利用料金収入は増加した。 太陽光発電の稼働、節電などにより経費の節減に努めた。 3館全体としては、収支均衡が図られている。	3館全体として、収支均衡が図られている。利用料収入は増加したが、利用者数が目標値に達していないため、利用者あたりの管理コスト及び県負担コストの実績は事業計画を超える結果となっている。利用者の確保に努める必要がある。
利用者満足度	利用者の満足度は、各項目とも8割以上が満足ということであった。今後も利用者のアンケートをもとに、施設の適切な管理・運営に努めたい。	利用者の満足度は高い。事業参加者減少の原因分析を行うために、事業に関するアンケートの情報を有効に活用する必要があり、照会項目の見直しとともにアンケート結果が翌年の事業に反映されるよう仕組みの検討を行う必要がある。
運営目標の達成状況		利用状況については、貸館利用者(87,946人)は前年度よりわずかに減少し目標値(91,450人)にも達していない。事業参加者(12,068人)も減少し目標値(12,850人)に達していない。目標値は下回ったが、平成20年度以前の直営で行われていた時よりも、館利用者数及び事業参加者数は増加しているため、PR等を通じて更なる増加に努めていかれるものとする。
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設の維持管理、運営業務等は、業務協定書及び業務計画どおり概ね適正に執行され、利用者満足度も高い結果となっている。また、利用料収入は増加し、3館全体としての収支は均衡している。しかし、利用者数が目標達成されていないことから、今後は、貸館利用者の増加を図るためにPRの強化等を行うとともに、事業参加者を増加させるために受講者に行ったアンケートを通じニーズの把握や事業参加者の伸びない講座についての分析に努め、結果を次回開催に生かすなどの工夫が必要である。	

施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況

平成24年度はより一層県民ニーズを的確に把握し、男女共同参画の推進に必要な意義や視点を理解してもらえる事業を企画するとともに、センター利用者が安全で快適に自己啓発活動が行える環境を作り、PRにも力を入れることにより、一層の利用者増に向けた管理運営に努めていくこととしている。

7. 管理体制(組織図)

